

くらぼよ

“くらぼーよ”って？

コラボレーション(共同、協力)と「～しようよ」を組み合わせ、『みんな協働で男女共同参画センターで男女共同参画社会の実現に向けて活動しようよ』という想いが込められた愛称です。

2011
第18号
10月発行



◆ 講座のご案内 ◆

◆ 「女性の働きたいを応援するセミナー」
12/2(金)、12/9(金)
面接のポイントや効果的な自己PR法・パーソナルカラーとメイクアドバイスを予定しています。
※詳しくは広報、チラシをご覧ください



「男女共同参画に関する 市民意識調査」の報告書から・・・その①

男女がお互いの人権を尊重しつつ、かつ対等に責任をにない、個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」の実現をめざした街づくりを推進するため「男女共同参画プラン」が策定されました。それに先だって、平成22年10月、三木市民の皆様にはアンケートが実施されました（配布数1500、回収数815、回収率54.3%）。その結果を少し紹介します。アンケート結果の全体は、三木市のホームページでもご覧になることができます。

1) 性別役割分担意識について



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について意見を聞いたところ、全体では賛成44.6%、反対43.9%とほぼ同数でした。しかし20代から50代までは反対が賛成よりも多く、60代以降は賛成が多くなりました。平成14年度の調査と比較すると、賛成が8.5%減少、反対が9.3%増加しています。固定的な役割分担意識は減少の傾向にあります。

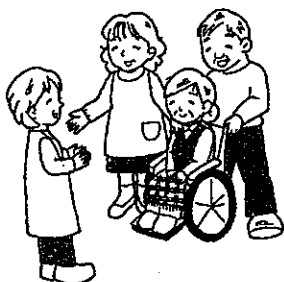
2) 家庭での役割分担(現実と理想)について

単位(%)

色々な家事について女性と男性のどちらが実際に行い、どちらが行うのが理想かを質問しました。「現実」に「主として女性」がしている割合が約7割～8割と高かったのは『洗濯』『食事を作る』『食事のあとかたづけ』『掃除』『日常の買い物』『家計の管理』『乳幼児の世話』などでした。

しかし「理想」を聞いたところ、『洗濯』『食事を作る』は、「主として女性」が多く、その他に『子どもの教育やしつけ』『高齢者の世話』『近所との付き合い』『地域行事への参加』などの項目は、「両方向じ程度」したいが約7割と特に高くなっていました。

女性の職業の有無、子どもや高齢者の有無などで、家事の担当をする状況は異なり、一概には言えません。将来的にはどんな家事も女性と男性が思いやりを持って協力するようにしたいですね。



	現実		理想	
	主として女性	両方向じ程度	主として女性	両方向じ程度
洗濯	87.0	7.1	48.8	34.8
食事を作る	89.1	5.9	43.8	39.6
食事の後片付け	78.7	14.2	27.7	54.8
掃除	74.7	17.8	24.9	58.3
日常のゴミ出し	52.0	16.6	15.7	51.8
日常の買い物	72.4	21.1	37.1	47.0
高額な買い物	18.0	47.5	5.5	63.2
家計の管理	73.1	16.0	37.8	43.4
乳幼児の世話	69.1	11.3	28.0	52.0
子どもの教育・しつけ	42.1	41.5	5.8	75.3
高齢者や病人の世話・介護	42.9	29.9	6.7	71.2
近所とのつきあい	46.0	42.5	10.1	73.5
地域行事への参加	31.5	45.0	4.9	72.0

3) 子どもが将来どのような人に育ってほしいと思いますか

	女の子の場合	男の子の場合
第1位	思いやりのある人	思いやりのある人
第2位	家庭を大切にする人	責任感のある人
第3位	素直な人	経済力のある人
:	:	:
第5位	:	家庭を大切にする人
第6位	責任感のある人	:
:	:	:
第9位	経済力のある人	素直な人

「女の子」、「男の子」ともに、第1位は「思いやりのある人」です。人として当然といったところでしょうか。さて、第2位は、女の子の場合「家庭を大切にする人」、男の子には「責任感」。第3位は、女の子の場合「素直な人」、男の子には「経済力」！「夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである」という考え方が映し出されているとも言えます。男の子の場合2位の「責任感」は、女の子では第6位。同様に男の子に強く求められている「経済力」にいたっては、女の子の場合は、第9位まで下がっています。また、女の子の場合の第3位の「素直な人」は、男の子の場合では第9位という



結果でした。女の子にも一人で自立できるよう「経済力」が必要だし、「責任感」は性別を超えて持つべきものですね。皆さんはどう思われますか？

(次号につづく)

災害と女性～防災は女性の参画から～ 正井礼子

東日本大震災については5月と7月に被災地の避難所や仮設住宅を訪問して支援物資を届け、女性たちに話を聴かせて頂きました。16年前とちがって、女性への暴力防止や、避難所運営への女性の参画やプライバシーの確保については多くの女性団体、そして内閣府も各自治体に何度も要望書を出しています。しかし私が訪問した複数の避難所では①避難所のリーダーは多くが男性②女性被災者のみが朝5時起きして炊事当番といった、性別役割の強化③プライバシーの確保やトイレの設置について女性の安全と安心の確保が不十分④更衣室や授乳室がない、乳幼児のいる家族が気兼ねなく生活できる部屋がない④下着の替えがなく生乾きの下着を着ているなどの状況がありました。もちろん、24時間ホットラインの開設や、地元の女性グループがニーズ調査を行い避難所の環境を改善した事例や、乳幼児を連れた家族の部屋や認知症の人を抱えた家族の部屋を設置するなどのよい事例もありました。復興にむけては多くの女性が「今、一番欲しいのは仕事です」と言われました。防災・復興への女性の参画を進めることは国の基本方針とされています。しかし、岩手県の復興会議は委員18人が当初全員男性。女性からの声で2回目からやっと地域婦人会と栄養士の代表が入ったとのこと。防災は日常から始まります。男女の格差ランキングによれば日本は世界134カ国中94位、男女平等はこれからです。自治会などの会長も全国平均で女性は約4%。しかし、さまざまな地域課題に取り組んでいる女性はたくさんおられます。日頃から地域リーダーに女性を半分選ぶ、女性も手をあげて積極的に参加することが今後の防災につながることをしたいと思います。

正井礼子

三木市男女共同参画センター女性問題相談員
市民グループ「ウィメンズネット・こうべ」代表
阪神淡路大震災当時、女性支援ネットワークを
たちあげ、「災害と女性」～防災・復興に女性の
参画～のシンポジウムを開催。HP（「災害と女
性」情報ネットワーク）による情報発信も行う。
「女性に対する暴力」根絶に向け被害者支援に
も力を注ぐ。

女性のための相談室

相談無料・秘密厳守

女性問題相談員が相談に応じます

(予約制) 面接相談

火曜日/13:00~16:00

木曜日/10:00~12:00

(予約受付) TEL 0794-89-2331

月~金/9:00~17:00

電話相談

火曜日/10:00~12:00

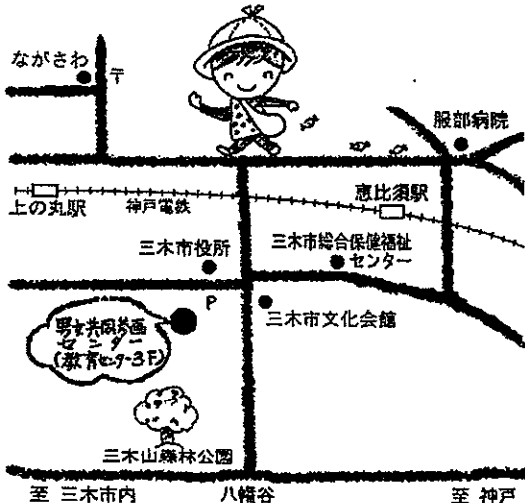
木曜日/13:00~16:00

専用電話 0794-89-2354

三木市男女共同参画センター案内

神鉄「恵比須」駅から徒歩10分

「市役所前」バス停からすぐ



あんな本・こんな本

図書コーナーで貸出中

ゲゲゲの女房

著者 武良布枝

実業之日本社 2008年3月発行

『ゲゲゲの鬼太郎』の作者、水木しげるの妻が夫と連れ添ってから半世紀を振り返ったエッセイ。赤貧の頃、マンガ家、妖怪研究者を経て、幸福とは何かを語る現在。一番身近に寄り添ってきた妻が明かす、水木しげるさんのすべてが書かれた一冊です。

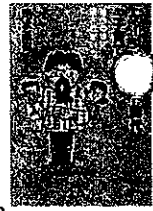


「ケータイ・ネット時代」の子育て論～時代の波に流されないか

著者 尾木直樹

新日本出版社/2008年1月発行

今ではなくてはならないほど普及している携帯電話やインターネット。便利な反面、子育てについて新たな悩みをもたらした。メディアで人気の尾木ママが、教育相談に寄せられた事例を取り上げ、これから楽しく安全なネット社会を築くための提案などを行っている。



三木市男女共同参画センター

(愛称こらぼーよ)

〒673-0433 三木市福井 1933-12

(三木市立教育センター3F)

TEL&FAX 0794-89-2331

開館時間 9:00~17:00

休館日 土・日・祝日・年末年始

E-mail: jinken@city.miki.lg.jp

ホームページや広報みきもご覧ください

企画編集: 情報誌こらぼーよ編集グループ

発行: 三木市男女共同参画センター

* 編集後記 *

読書の秋・芸術の秋・食欲の秋...
中秋の名月にうっとり、脂ののった秋刀魚に舌鼓...季節をからだで感じることの素晴らしさ。
自分なりの秋の夜長を楽しみましょう。

